

整備計画の概要

新棟整備概要

市立住吉市民病院の小児・周産期機能を急性期・総合医療センターの既存診療機能を活用し統合。同敷地南側に新棟を建設

あわせて府立急性期・総合医療センターの既存診療機能を充実

- ・手術室、内視鏡室の増室(患者待ち、件数増対応)
- ・外来化学療法室の増床(免疫疾患、件数増対応)
(別途、病院機構の負担として新棟移設に伴う跡室を活用し婦人科・救急科の増床、画像診断室、外来診療室の狭隘化等に対応)

整備規模

建築面積 約 2,500 m²

延床面積 約 12,500 m²

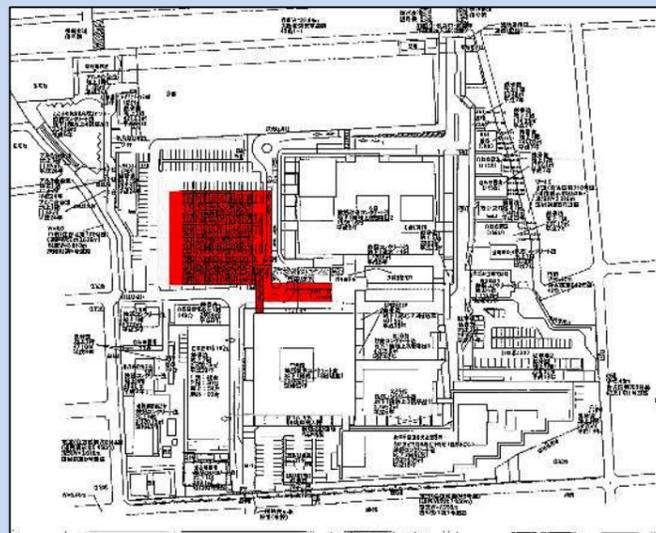
階層規模 5階建・既存の棟との動線確保

整備費用

約 89.4 億円

- (内訳) ・新棟本体整備費 約 50 億円
- ・機器整備 約 20 億円
- ・設計費 約 2.7 億円
- ・附帯工事 約 16.7 億円

位置図



新棟イメージ

< 既存施設 >

(中央館 5 F)
小児科 50 床
(一般 38 NICU6 GCU6)
産科 15 床

(中央館 3 F)
手術室

(北 2 号館 1 F)
内視鏡室

(本館 1・2 F)
外来化学療法室
小児科外来
産婦人科外来
消化器内科外来

< 新棟 (案) >

5 F	病棟 小児科 58 床 (一般 50 床、HCU 8 床)
4 F	病棟 産科 46 床 (一般 40 床、MFICU 6 床) 新生児科 21 床 (NICU 9 床、GCU 12 床)
3 F	手術室 等
2 F	外来化学療法室 内視鏡室 外来 (消化器内科) 等
1 F	外来 (小児科・産婦人科)

【附帯工事】

- ・渡り廊下整備
- ・雨水貯留槽移設
- ・立体駐車場整備
- ・外構 など